

3 外傷

Point

- ・けがをしてもすぐに治療を受けられるわけではないことを自覚しておきましょう。
- ・第一に、命にかかわる外傷を見逃さない。
- ・簡単な止血や骨折処置に対応できるようにしておきましょう。
- ・危険な場所には近寄らない、危険な行為をしない、新たな災害に巻き込まれない。

予防

災害現場では、さまざまな状況がいつもと異なっています。いつもは安全な場所が不安定になっていたり、余震やがけ崩れが起きたり、ずいぶん不潔になっていたり予測不可能な状況にあります。そのような場所では、いつけがに見舞われるかもしれません。この「外傷」の項を述べるにあたって、けがをしないことが最も大切であることを強調しておきたいと思います。それは、急を要する外傷であるにもかかわらず、いつものように病院などで手当てをしてもらえるかどうかわかりませんし、救急車がきてくれるとも限らないからです。やはり、災害現場での作業は自己責任で行う覚悟が必要ですから、けがをする可能性が高い行為はしないべ

きです。つまり、「危険な場所には近寄らない、危険な行為をしない、新たな災害に巻き込まれない」ということです。それは、さまざまな人を災害救援活動以外の新たな仕事に巻き込まないことにもなります。災害現場での活動では、意気揚々として疲労している精神状態ですから、たとえ日頃慎重な行動をとる人でもつい無茶な行動をするものです。周りの人もお互いに疲労しているかどうか仲間に気を配りましょう。

作業内容によっては厚手の手袋、底がしっかりした靴、肘・ひざ当て、ヘルメットなど身を守るものをつける必要もあります。また、けがをした場合にすぐに対応できるようにするために、単独行動はしないことと定期的な連絡をとりあうことも重要です。

命にかかわる外傷

小さな外傷の場合と違って、大きな外傷の場合命にかかわることもあります。本人に自覚がない場合さえあります。さらに、表面のけがに惑わされて、頭、胸、腹の中のような、外から見えない部分の外傷による損傷を見逃してしまうこともあります。そのようなことをできる限り避けるために、次の項目には十分に注意を払ってください。また、大きなけがの可能性がある場合には以下に示します項目を何度も観察してください。時間差をもってあとから症状が出てくる場合もあります。

- 息をしているか？
- 呼吸をしているときに胸がしっかりと動いているか？
- 手足をしっかりと動かすことができるほど元気があるか、または手が冷たくじっとりと湿っていないか？
- 意識がしっかりしているか？
- 大量に出血しているところがあるか、または手足に大きな変形はないか？

という点を観察します。ひとつでも当てはまる場合には重大な外傷が潜んでいる可能性がありますので、すぐに消防署に連絡をしてください。この観察は少し難しいかもしれませんが、大まかな医療上の判断につながる場合がありますので、消防や医療機関に連絡をする場合にはどの項目に異常があるか伝えてください。

簡単な処置

不幸にしてけがをしてしまった場合には、医療機関に行くまでに最低限のことをしなければなりません。作業現場でできることは限られていますが、止血、骨折、洗浄・消毒について、限られた紙面で簡単に説明します。詳しくは、市民向けの救急処置について書かれた書籍をご覧ください。

- **止血** 出血している場所を厚手のきれいな布で根気よく強く抑え続けるとほとんどの場合には止血でき

ますが、勢いよく大量に血液が噴出している場合にはこの方法で止められない場合もあります。このような場合にはやむなく太めの紐^{ひも}で出血している部位よりも少し心臓側^{しば}で縛ることもありますが、神経やその他の組織を傷つけることにもなるので、安易に行ってはいけません。

■ **骨折** 腕や足に変形がある場合には、身の回りにある板状のもの（雑誌を折り曲げて作ってもよい）で挟むようにして、テープやひもを用いて動かないように固定します。これで痛みはずいぶん軽減されます。骨折かどうか不明の場合でもこのように固定するだけでずいぶん楽になります。

■ **洗浄・消毒** 災害現場での環境は劣悪である場合が多いです。したがって、衛生環境も悪い場合が多く、けがによって傷が化膿^{かのう}する場合があります。そうならないようにするために、けがをした部分をしっかりとブラシなどを用いて水でこすり洗いすべきです。痛いからと言って怠ると大変な傷口の感染が起きることがあります。詳しくは別章「感染症など：本当は怖い破傷風」をご覧ください。

そのほか、大きなけがにあったときは災害地で手術や輸血を受ける必要が出てくることもありますから、血液型を書いたものを持っていくようにしましょう。また、けがをしても大変な細菌に侵されないようにするために、予防接種を打ってその証明書を持って行きましょう。